

主要施策	7	市民文化の創造			
施策の内容	1	美術に関する創造的活動の推進			
事業名 (予算/決算)	[51] 文化芸術推進事業 (生涯学習課: 文化推進係) (予算: — 千円 / 決算: — 千円)				
事業の概要	事業の目的	市民の自主的な文化芸術活動や学校教育を支援し、感性豊かな人材の育成や郷土への誇りを育むことで、地域の文化芸術の活性化と教育・文化のまちづくりを推進します。			
	事業の内容	地域の個人・団体の文化芸術活動や学校・公民館との連携による鑑賞・創作活動を支援し、あらゆる世代に向けた学習プログラムの充実や情報発信、郷土作家の作品を活用した教育支援を通じて、市民の文化芸術振興に取り組めます。			
令和6年度 取組と成果	目標値 (主要な指標)	美術館を活用した学校数 (延べ回数): 8校 (延べ16回) 展示室5利用団体数: 10組 市民アトリエの延べ利用回数: 85回			
	実績値 (目標値との比較)	美術館を活用した学校数 (延べ回数): 2校 (延べ3回) 展示室5利用団体数: 9組 市民アトリエの延べ利用回数: 45回			
	重点課題	学校との情報共有や学習支援を強化し、庁内の産業振興課、デジタル戦略課、市内の観光まちづくり協会、道の駅うすいなどと連携・協力を進めます。これにより、美術館の利用促進と利便性向上を目指します。			
	課題への取組と成果	指定管理者と連携し、地域団体による展示室5の利用促進に取り組んだ結果、利用団体数はほぼ目標を達成しました。一方で、学校利用や市民アトリエの利用回数は目標に届かず、学習支援や創作活動への参加が限定的でした。これは学校との連携不足や、アトリエ利用に関する情報発信の弱さが要因と考えられます。また、所蔵作品を活用した教育支援は一部実施されたものの、継続的な取組には至っていません。			
	次年度重点課題	学校との連携を強化し、カリキュラムに即した出前授業を計画するなどし、学校の美術館の利用数を増やすことが必要です。			
令和6年度 自己評価	【評価の指標】		A	B	C
	実績値評価 (当該年度の目標値に対する達成度・進捗度)			○	
	課題への取組と成果 (当該年度の取組における成果・効果)			○	
	※評価の指標 A: 期待以上 (高い) B: 概ね期待どおり (基準) C: 課題あり (低い)				
	評価の根拠	展示室5の利用団体数が目標を上回るなど、地域団体等が行う文化芸術活動の支援については一定の成果が見られました。また、所蔵作品を活用した教育支援にも着手し、事業目的の一部は達成できました。一方で、美術館を活用した学校数や市民アトリエの利用回数は目標に届かず、学習支援や創作活動の充実には課題が残りました。 総合的に見て、事業の方向性や取組内容は適切であり、一部の目標未達はあるものの、一定の成果が上がったと判断されることから本事業の評価はB評価としました。			
教育委員会評価		今回	B	(前回)	(B)

主要施策		7	市民文化の創造		
施策の内容		1	美術に関する創造的活動の推進		
事業名 (予算/決算)		[52] 美術館運営管理事業 (生涯学習課: 文化推進係) (予算: — 千円 / 決算: — 千円)			
事業の概要	事業の目的	美術館や碓井琴平公園を快適かつ安全に利用できるよう適切に維持管理を行うとともに、収蔵作品の保存・活用や交流人口の増加に向けた周知にも努めます。			
	事業の内容	美術館や碓井琴平公園の適切な維持管理と環境美化を行い、快適な鑑賞環境と作品保存を両立させるとともに、作品の調査・修復・記録の充実、情報発信や来場者の声を活かしたサービス向上に努めます。			
令和6年度 取組と成果	目標値 (主要な指標)	展示室入館者数: 11,350人 入館者総数 (市民アトリエ利用者含む): 12,350人 市民アトリエ、展示室5利用回数: 100回			
	実績値 (目標値との比較)	展示室入館者数: 7,209人 入館者総数 (市民アトリエ利用者含む): 8,333人 市民アトリエ、展示室5利用回数: 89回			
	重点課題	市内外を対象にした美術館に対するアンケート調査を実施して、結果の分析をし課題の改善策を検討します。また指定管理者に対し、運営状況のモニタリングを実施し、指導改善を図ります。			
	課題への取組と成果	アンケート結果や入館者データを分析し、アクションプランの進捗管理と共に指定管理者と情報を共有することで、今後の運営改善に活用しました。施設の維持管理は概ね良好で、美術館及び公園の快適な利用環境を維持できました。アトリエや展示室5の利用は目標に近づき一定の成果が見られましたが、展示室入館者数は目標を大きく下回り、広報や集客面での課題が明らかとなりました。			
	次年度重点課題	来館者数の回復に向け、学校・地域団体や他部署と連携し、事業内容や情報発信を強化しながら交流人口の拡大を図ります。			
令和6年度 自己評価	【評価の指標】		A	B	C
	実績値評価 (当該年度の目標値に対する達成度・進捗度)			○	
	課題への取組と成果 (当該年度の取組における成果・効果)			○	
	※評価の指標 A: 期待以上 (高い) B: 概ね期待どおり (基準) C: 課題あり (低い)				
	評価の根拠	施設の維持管理や環境美化については、指定管理者により計画的かつ継続的に取り組まれており、美術館及び碓井琴平公園は快適で安全な利用環境が確保されました。また、市民アトリエや展示室5の利用回数は目標に近づき、地域における文化活動の場としての定着が見られました。一方で、展示室入館者数や総入館者数は目標を下回り、広報や集客に課題が残る結果となりました。 総合的に見て、施設管理運営の基本的な機能は果たされ、一定の成果が認められることから、本事業の評価はB評価としました。			
教育委員会評価		今回	B	(前回)	(B)

主要施策		7	市民文化の創造		
施策の内容		1	美術に関する創造的活動の推進		
事業名 (予算/決算)		[53] 企画展事業 (生涯学習課: 文化推進係) (予算: — 千円 / 決算: — 千円)			
事業の概要	事業の目的	優れた文化芸術の鑑賞や織田廣喜の作品展示・発信を通じて、市民の関心を高め心を癒すとともに、人材育成や観光振興、持続可能なまちづくりに貢献します。			
	事業の内容	特別企画展やコレクション展の開催に加え、図書館等との連携による展示内容の充実や関連イベントの実施、広報の強化に取り組み、事業の成果と課題を次年度に活かして効果的な運営を継続します。			
令和6年度 取組と成果	目標値 (主要な指標)	特別企画展入館者数: 5, 300人 企画展入館者数 (コレクション展等): 260人 メディア掲載回数: 6回			
	実績値 (目標値との比較)	特別企画展入館者数: 2, 724人 企画展入館者数 (コレクション展等): 657人 メディア掲載回数: 46回			
	重点課題	嘉麻市観光まちづくり協会、道の駅うすい等他団体等との連携を強化し、多角的な企画と共に広報を行い、市外からの交流人口を増やす取組を行います。			
	課題への取組と成果	嘉麻市観光まちづくり協会主催のアウトドアイベントを美術館敷地内で開催し、地域連携による交流人口の増加に一定の成果が見られました。メディア掲載回数は目標を大きく上回り、フリーペーパー事業者等との連携による広報強化の効果が現れました。また、図書館等と連携した関連イベントの実施により、展示内容の充実と来館者満足度の向上にも努めました。一方で、特別企画展の入館者数は目標に届かず、市内外からの集客促進に引き続き課題が残る結果となりました。			
	次年度重点課題	特別企画展の集客力向上を図るため、魅力ある企画の充実と、市内外のターゲット層に応じた情報発信を強化し、来館促進と満足度向上を目指します。			
令和6年度 自己評価	【評価の指標】		A	B	C
	実績値評価 (当該年度の目標値に対する達成度・進捗度)			○	
	課題への取組と成果 (当該年度の取組における成果・効果)			○	
	※評価の指標 A: 期待以上 (高い) B: 概ね期待どおり (基準) C: 課題あり (低い)				
	評価の根拠	特別企画展の入館者数は目標に届かなかったものの、コレクション展等の企画展は大きく目標を上回り、企画展全体として一定の集客効果が見られました。また、メディア掲載回数は大幅に増加し、広報活動の強化が着実に成果を上げたことが評価できます。図書館との連携や関連イベントの実施により、展示内容の充実にも取り組み、事業の基本的な方向性は妥当と判断されます。こうした点を踏まえ、本事業の評価はB評価としました。			
教育委員会評価		今回	B	(前回)	(A)

主要施策		7	市民文化の創造		
施策の内容		1	美術に関する創造的活動の推進		
事業名 (予算/決算)		[54] 美術教育普及事業 (生涯学習課: 文化推進係) (予算: — 千円 / 決算: — 千円)			
事業の概要	事業の目的	市民に文化芸術への関心を深める学習機会を提供し、美術教育を補完・拡充して子どもの表現力や思考力を育みます。			
	事業の内容	幅広い世代が学びや体験を得られる教育プログラムを、アーティストや大学等と連携して実施し、デジタルチラシなどで情報提供を行うとともに、成果と課題を次年度に活かして効果的な取組を継続します。			
令和6年度 取組と成果	目標値 (主要な指標)	主催講座数 (種別数): 4 講座 アウトリーチ実施回数: 5 回 教育プログラムの満足度 (アンケート結果): 83%			
	実績値 (目標値との比較)	主催講座数 (種別数): 14 講座 アウトリーチ実施回数: 2 回 教育プログラムの満足度 (アンケート結果): 90%			
	重点課題	ボランティアの登録募集については今後も市内外へ周知し、登録者のための説明会を実施することで登録者数が増えることを目指します。 展示講習などボランティアのスキル向上につながる研修を設け、ボランティアの活動の選択肢を増やすことで人材育成を目指します。			
	課題への取組と成果	登録ボランティアは6名となり、展示講習や企画展準備、ワークショップ支援など多様な活動の機会を設けた結果、参加人数も昨年度を上回りました。主催講座は目標を大きく超える14講座を実施し、幅広い世代に対して学びの場を提供できました。プログラム満足度も90%と高く、美術教育の補完・拡充に一定の成果が確認されました。			
	次年度重点課題	アウトリーチの機会を拡充し、学校や地域団体との連携を強化することで、美術教育の裾野を広げ、持続的な人材育成につなげます。			
令和6年度 自己評価	【評価の指標】		A	B	C
	実績値評価 (当該年度の目標値に対する達成度・進捗度)		○		
	課題への取組と成果 (当該年度の取組における成果・効果)			○	
	※評価の指標 A: 期待以上 (高い) B: 概ね期待どおり (基準) C: 課題あり (低い)				
	評価の根拠	主催講座数は目標を大きく上回り、内容の多様化と参加機会の拡充により、子どもから高齢者まで幅広い世代への美術教育普及に大きな成果が見られました。加えて、教育プログラムに対する満足度も90%と高く、事業の質の面でも好評価が得られました。一方で、アウトリーチの実施回数は目標に届かず、課題を残しました。ボランティア育成についても、引き続き人材確保と研修機会の充実が求められます。 以上を総合的に判断し、本事業は多くの目標を上回る成果を上げたことから、本事業の評価はA評価としました。			
教育委員会評価		今回	A	(前回)	(B)

※評価の指標 A: 期待以上 (高い) B: 概ね期待どおり (基準) C: 課題あり (低い)